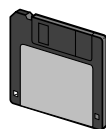
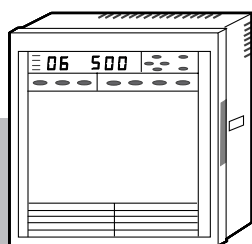
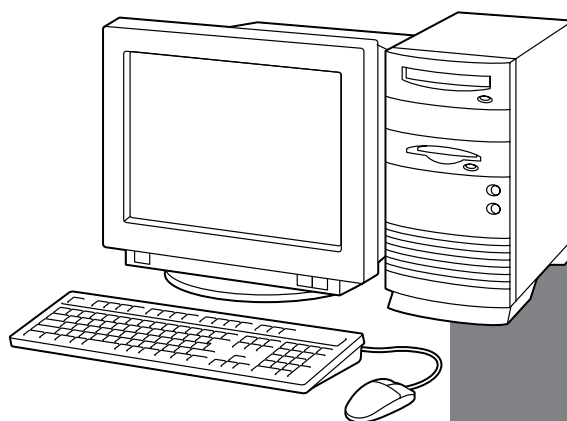


# SRF100/200 記録計用 スマートローダパッケージ SLP-F10/F20 取扱説明書



SRF100/200 記録計用スマートローダパッケージ SLP-F10/F20 をご購入いただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書には、SLP-F10/F20 を正しくご使用いただくための必要事項が記載されております。

SLP-F10/F20 を使用した装置の設計や設定、保守などを担当される方は、必ずお読みになり、理解したうえでご使用ください。また、この取扱説明書は、初期設定時だけでなく、設定値の変更やトラブル時の対応などの際にも必要です。いつもお手元においてご活用ください。

## 使用上の制限について

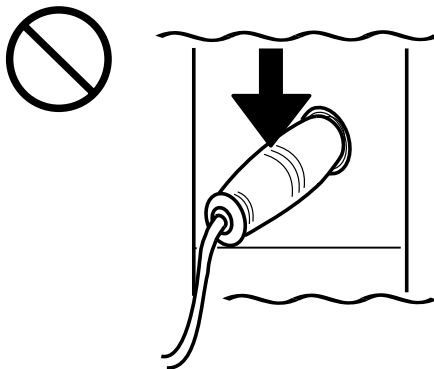
本製品は、一般機器での使用を前提に、開発・設計・製造されております。とくに、下記のような安全性が必要とされる用途に使用する場合は、フェールセーフ設計、冗長設計 および 定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮していただいた上でご使用ください。

- ・人体保護を目的とした安全装置
- ・輸送機器の直接制御(走行停止など)
- ・航空機
- ・宇宙機器
- ・原子力機器 など

本製品の働きが直接人命に関る用途には使用しないでください。

### 重要事項

ローダプラグを接続中は、強い力を加えないでください。計器を破損する恐れがあります。



### ❗ 取扱い上の注意

ローダプラグに力を加えすぎると、通信ができなくなることがあります。このときは、再度ローダプラグを接続し直してください。

## お願い

この取扱説明書は、本製品をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。

この取扱説明書の全部、または一部を無断で複写、または転載することを禁じます。この取扱説明書の内容を将来予告なしに変更することがあります。

この取扱説明書の内容については、万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記入もれなどがありましたら、当社までお申し出ください。

お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

## 確認してください

お買上げいただいたスマートローダパッケージSLP-F10/F20は、次のように構成されています。  
商品の開梱時に次の点について確認してください。


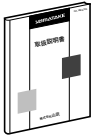
1. ご注文の商品に間違いがないか、形番をチェックする
2. 商品に破損がないかどうか、外観をチェックする
3. 付属品が規定どおりあるか、チェックする

付属品は、次のとおりです。


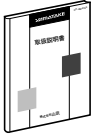
開梱後は、付属品を紛失したり破損したりしないように、十分注意して取り扱ってください。

万一、異常や間違いがあった場合は、直ちにお買上げの販売店までご連絡ください。

### SLP-F20の場合

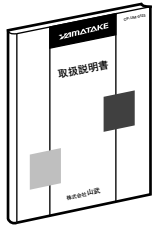
品名	形番	数量	備考
SLP-F20 システムディスク 	SLP-F20J20	1	フロッピーディスク 3.5型 1.44Mバイト
専用ケーブル式			
取扱説明書 	CP-UM-5067	1	本書です SLP-F10とSLP-F20の共通取扱説明書にな っています
お客様登録カード		1	お客様登録カードに必要事項を記入し、直 ちにご返送ください 登録をしないと、バージョンアップのお 知らせや問い合わせに対するサポートが行 えません

### SLP-F10の場合

品名	形番	数量	備考
SLP-F10 システムディスク 	SLP-F10J20	1	フロッピーディスク 3.5型 1.44Mバイト
専用ケーブル式		1	
取扱説明書 	CP-UM-5067	1	本書です SLP-F10とSLP-F20の共通取扱説明書にな っています
お客様登録カード		1	お客様登録カードに必要事項を記入し、直 ちにご返送ください 登録をしないと、バージョンアップのお 知らせや問い合わせに対するサポートが行 えません

## この取扱説明書の位置づけ

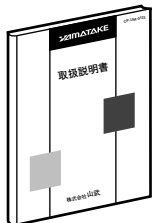
SRF100/200関連の取扱説明書は全部で7冊あります。用途に応じて必要な取扱説明書をお読みください。必要な取扱説明書がお手元にないときは当社、または販売特約店の担当者にお申し付けください。



### スマートレコーダ SRF101/102/103 設置・運転編 資料番号 CP-UM-1667

はじめてSRF101/102/103をお使いになる方、SRF101/102/103を制御盤などに組み込むためハードウェア設計、運転操作、保守を担当される方は、必ずお読みください。

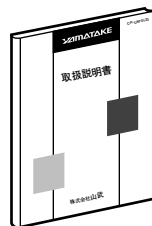
装置に組み込むための設置、結線方法、運転操作方法、保守点検、トラブル時の対応、ハードウェアの仕様について説明しています。



### スマートレコーダ SRF106 設置・運転編 資料番号 CP-UM-1666

はじめてSRF106をお使いになる方、SRF106を制御盤などに組み込むためハードウェア設計、運転操作、保守を担当される方は、必ずお読みください。

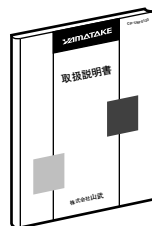
装置に組み込むための設置、結線方法、運転操作方法、保守点検、トラブル時の対応、ハードウェアの仕様について説明しています。



### スマートレコーダ SRF201/202/203 設置・運転編 資料番号 CP-UM-5057

はじめてSRF201/202/203をお使いになる方、SRF201/202/203を制御盤などに組み込むためハードウェア設計、運転操作、保守を担当される方は、必ずお読みください。

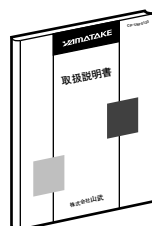
装置に組み込むための設置、結線方法、運転操作方法、保守点検、トラブル時の対応、ハードウェアの仕様について説明しています。



### スマートレコーダ SRF206/212/224 設置・運転編 資料番号 CP-UM-5034

はじめてSRF206/212/224をお使いになる方、SRF206/212/224を制御盤などに組み込むためハードウェア設計、運転操作、保守を担当される方は、必ずお読みください。

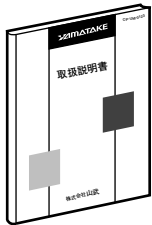
装置に組み込むための設置、結線方法、運転操作方法、保守点検、トラブル時の対応、ハードウェアの仕様について説明しています。



### デジトロニック CPL通信 SRF101/102/103/106/201/202/203編 資料番号 CP-UM-1668

SRF101/102/103/106/201/202/203はRS-485、またはRS-232Cにより他の機器と通信を行えます。

SRF101/102/103/106/201/202/203のもつ通信機能を使用するとき、その通信手順とコマンドについて解説をしています。

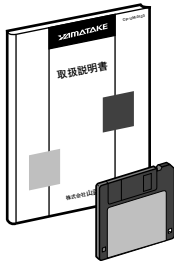


**デジトロニック CPL通信 SRF206/212/224編**

**資料番号 CP-UM-5035**

SRF206/212/224 は RS-485、または RS-232C により他の機器と通信を行います。

SRF206/212/224 のもつ通信機能を使用するとき、その通信手順とコマンドについて解説をしています。



**SRF100/200 記録計用 スマートローダパッケージ SLP-F10/F20**

**資料番号 CP-UM-5067**

本書です。

スマートローダパッケージ SLP-F10/F20 に付属します。

パソコン上で SLP-F10/F20 を動作させると、パソコンから SRF100/200 のパラメータ設定ができます。

パソコンの操作を説明しています。

本書は、SLP-F10 と SLP-F20 の共通取扱説明書になっています。

# この取扱説明書の構成

---

この取扱説明書は、次のように構成されています。

## 第1章 ご使用の前に

本ローダの用途や特長、使用環境について説明しています。

## 第2章 インストールと基本機能

本ローダのインストール方法、起動・終了方法、機能、画面構成など基本動作について説明しています。

## 第3章 操 作

形番設定、ファイル操作、印刷、本体との通信、データの設定など、設定に関する操作方法の説明しています。

## 第4章 トラブルシューティング

エラーメッセージ、トラブル発生時の対処方法について説明しています。

## 付 録


コード表を載せています。

# この取扱説明書の表記について

---

この取扱説明書の表記は、次のようにしています。

 **取扱い上の注意** : 取り扱い上、注意していただきたい事柄を示しています。

 **参 考** : 知っていただくと便利な事柄を示しています。

①②③ : 操作の手順、または図などの説明のため対応する部分を示しています。

[開く]ボタン : パソコン画面の選択ボタンを示しています。

[ファイル]  
[上書き保存]  
[完了]

> : 操作の結果、パソコンや機器に表示される内容や、操作後の機器の状態を示します。

[TAB]キー、[↑]キー : キーボードのキーを示しています。

[Ctrl]+[X]キー : キーボードの[Ctrl]キーを押しながら[X]キーを押すことを示しています。

\* 各パソコン画面の図は、SLP-F20の画面で説明しています。

# 目 次

---

確認してください	
この取扱説明書の位置づけ	
この取扱説明書の構成	
この取扱説明書の表記について	

## 第1章 ご使用の前に

1-1 概 要	J1
1-2 動作に必要なシステム環境	J2
■ ハードウェア機器	J2
■ ハードウェア構成	J3
■ 動作確認に使用した機器	J3

## 第2章 インストールと基本機能

2-1 インストール	J4
2-2 起動と終了	J6
■ ローダを起動する	J6
■ ローダを終了する	J6
2-3 機能説明	J7
■ ローダの機能	J7
2-4 画面構成	J8
■ ローダの画面構成	J8

## 第3章 操 作

3-1 オプションの設定	J9
■ 形番設定	J9
■ 環境設定	J10
3-2 ファイルの操作	J11
■ 新規ファイルを作成する	J11
■ 既存のファイルを開く	J11
■ ファイルを上書きする	J11
■ ファイルに名前を付けて保存する	J12
■ CSV形式ファイルを出力する	J12
3-3 印 刷	J13
■ パラメータの印刷	J13
3-4 本体との通信	J15
■ 本体からローダへ通信する(ローダへ読み出す)	J15
■ ローダから本体へ通信する(ローダから書き込む)	J15
■ 日付/時刻を本体に設定する。	J15
3-5 データの設定	J16
■ 設定項目を選択する	J16
■ 数値データを入力する	J16
■ 文字データを入力する	J18

---

## 第4章 トラブルシューティング

4-1 エラーメッセージ	J19
■ 通信エラーメッセージ	J19
■ ファイルエラーメッセージ	J19
■ 印刷エラーメッセージ	J19
■ 起動エラーメッセージ	J19

## 付録

■ コード表	J20
--------	-----

# 第1章 ご使用の前に

## 1-1 概要

SLP-F10/F20(以下、ローダと呼びます)は、SRF100/200記録計(以下、本体と呼びます)用のエンジニアリングツールです。

本ローダは、パーソナルコンピュータの日本語版Windows95/98/Me/2000/XP上で動作するソフトウェアパッケージです。

本ローダは次のような機能を持っています。

- ・パラメータの設定
- ・本体との通信機能(パラメータの書き込み/読み出し)
- ・ファイル機能(パラメータの書き込み/読み出し)
- ・印刷機能(パラメータの印刷)

本ローダで取り扱える本体形番は、以下のとおりです。

形番	本体形番
SLP-F20	SRF206/212/224
SLP-F10	SRF101/102/103 SRF201/202/203 SRF106

### 参考

2-1 インストール (J4 ページ) の手順でハードディスクにインストールしてください。

お買い上げのシステムディスクは保存用としてください。

### 取扱い上の注意

このディスクは、システムを含まないため、そのままでは使用できません。

## 1 - 2 動作に必要なシステム環境

本ローダを使用するには、次のシステム環境が必要です。

### ■ ハードウェア機器

項目	内容	
パソコン	対象機種	Pentium以上のCPUを搭載しているPC/AT互換機
	メモリ	24Mバイト以上
	オペレーティングシステム	日本語版Windows95/98/Me/2000/XP (以下、Windowsと呼びます)
	日本語入力システム	Windowsに対応した日本語入力システム
周辺機器	ディスプレイ	コンピュータ本体に接続可能または内蔵されていてWindowsに対応したもの
	プリンタ	Windowsに対応したプリンタドライバを持つプリンタ(A4横に対応していること)
	シリアルポート*	9ピンシリアルポート 1ch以上
	ハードディスクドライブ	空き容量が40Mバイト以上あるハードディスク
	フロッピーディスクドライブ	1ドライブ以上 お買い上げいただいたパッケージのフロッピーディスクを読みとれるタイプのもの (1.44Mバイトフォーマット)
	ポインティングデバイス	マウス、またはマウス相当のデバイスでWindowsに対応したもの

\*:シリアルポートについて

パソコンは9ピンシリアルポートが内蔵されているものを使用することをお勧めします。

パソコンにシリアルポートが内蔵されていない場合、下記のどれかの拡張アダプタによりローダケーブルを接続することができます。

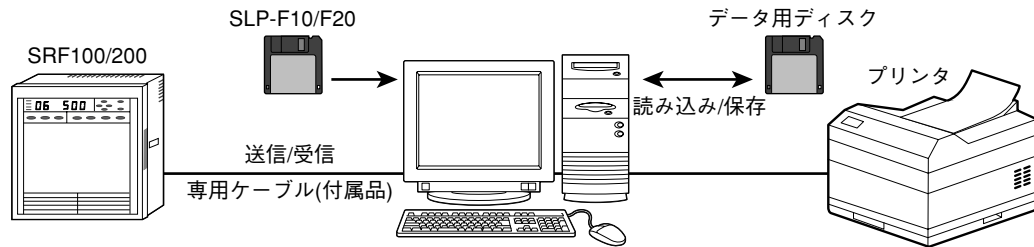
ただし、パソコンの環境などにより動作が不安定になることがあります。

- ・専用インターフェイス(ポートリプリケータ)  
各パソコン専用アダプタ(パソコンの機種ごとに専用です)
- ・CFカードアダプタ  
IBSジャパン社製CF232  
<http://www.ibsjapan.com/CF232.htm>  
動作確認パソコン IBM社 Thinkpad A31  
RATOC社製REX-CF60  
<http://www.ratocsystems.com/products/subpage/cf60.html>
- ・USBアダプタ  
株式会社アイ・オー・データ機器製USB-RSAQ3  
<http://www.iodata.jp/prod/mobile/serial/2004/usb-rsaq3/>  
動作確認パソコン IBM社 Thinkpad A31  
USBケーブルを接続するときには、ポート番号を確認してください。  
USBケーブルを接続する位置によって番号が変わります。

### ❗ 取扱い上の注意

- ・印刷機能は、ご使用のプリンタが動作することを確認してからお使いください。
- ・他のアプリケーションソフトはすべて終了してください。  
他のアプリケーションソフトが動作中のとき、ローダが動作しないことがあります。

## ■ ハードウェア構成



## ■ 動作確認に使用した機器

項目	メーカー	内容
パソコン	Dell	Optiplex Gxi5200
	Dell	Optiplex GX5166
	富士通	FMV-5166T3
プリンタ	Canon	LBP-720
	Canon	BJC-620JW
	EPSON	LP-1000

# 第2章 インストールと基本機能

## 2 - 1 インストール

ここでは、ローダをパソコンにインストールする方法を説明します。

### ❗ 取扱い上の注意

他のアプリケーションソフトが動作している場合、インストールプログラムが正常に動作しないことがあります。

他のアプリケーションソフトの常駐を解除してからインストールプログラムを起動してください。

また他のアプリケーション、ドライバなどの組み合わせにより本製品が動作しないことがあります。

またWindows、パソコンの設定に関しては、Windows、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

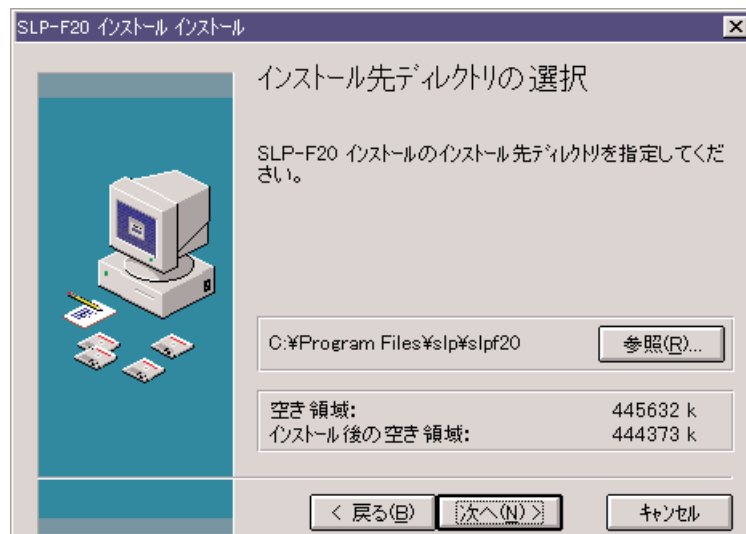
### ● ローダをインストールする

①画面下部の[スタート]ボタンをクリック後 [ファイル名を指定して実行 R] を選択します。

②[A:¥SETUP] をキーボードから入力します。

③本ソフトウェアのディスクをディスクドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

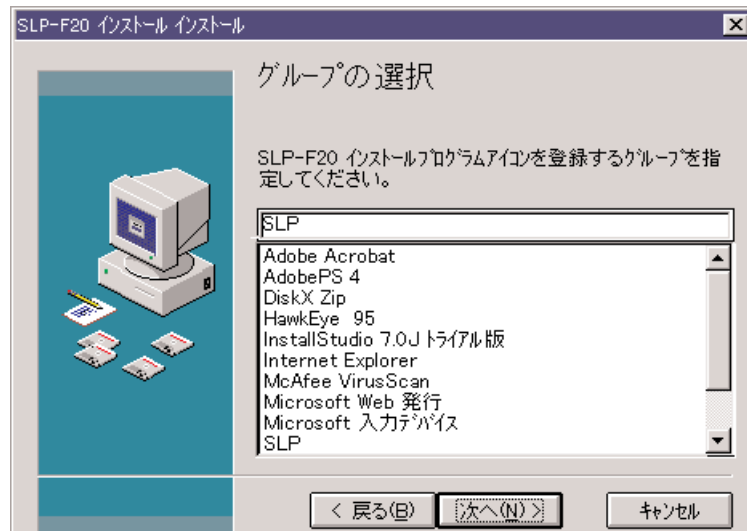
》インストールプログラムが起動されます。



### 📖 参考

インストール先ディレクトリを変更するには [参照] をクリックします。

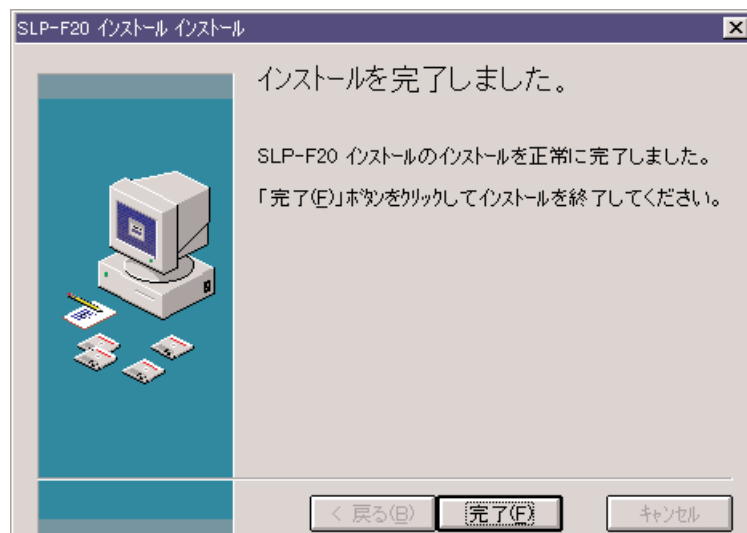
- ④ [次へ] をクリックします。  
》 次の画面が表示されます。



**参考**

グループを変更する場合は、グループ名を入力してください。

- ⑤ [次へ] をクリックします。  
》 正常終了すると、次の画面が表示されます。



- ⑥ [完了] をクリックします。  
》 インストールプログラムが終了します。

## 2 - 2 起動と終了

### ■ ローダを起動する

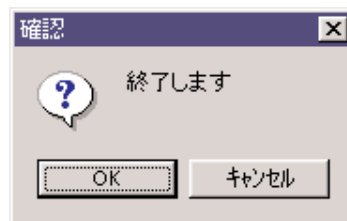
- ①画面下部の[スタート]ボタンをクリックし [プログラム] の [SLP] の SLP-F□□(SRF□□□)のアイコンを選択します。
  - 》ローダが起動し、オープニング画面が表示されます。
  - 》メニューウインドウが表示されます。

#### 📖 参考

使用しているオペレーティングシステムやマウスの使用方法については、Windowsに付属の取扱説明書をご覧ください。

### ■ ローダを終了する

- ①画面右上の[終了]ボタンをクリックします。  
また、[ファイル] の [SLP-F□□の終了] コマンドを選択しても同じ処理が行えます。
  - 》下記の画面が表示されます。



- ②[OK]ボタンをクリックします。

## 2 - 3 機能説明

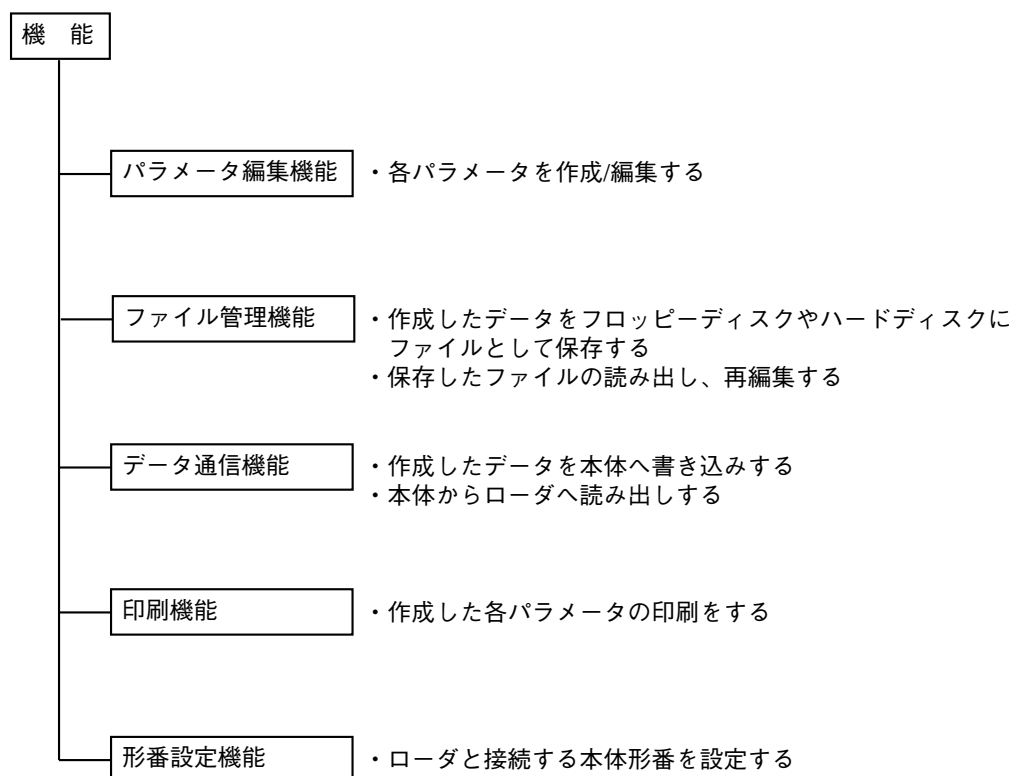
### ■ ローダの機能

ローダは本体の機能を構築するのに必要な

- ・パラメータ編集機能
- ・ファイル管理機能
- ・データの通信機能
- ・印刷機能
- ・形番設定機能

を持っています。

機能の一覧は次のとおりです。



### 📖 参考

1ファイルとは本体1台分のデータのことです。

1ファイル=各パラメータ設定+形番情報

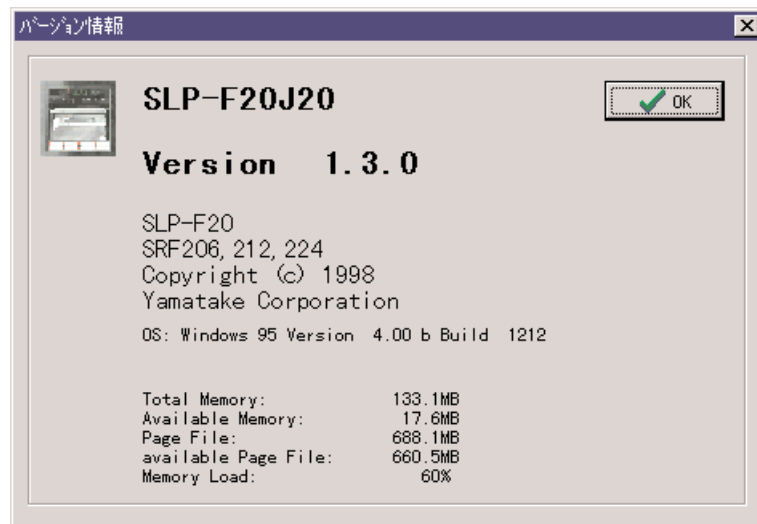
## 2 - 4 画面構成

### ■ ローダの画面構成

- ・ローダの基本画面です。



- ・[ヘルプ] の [バージョン情報] を選択したときのダイアログボックス表示です。



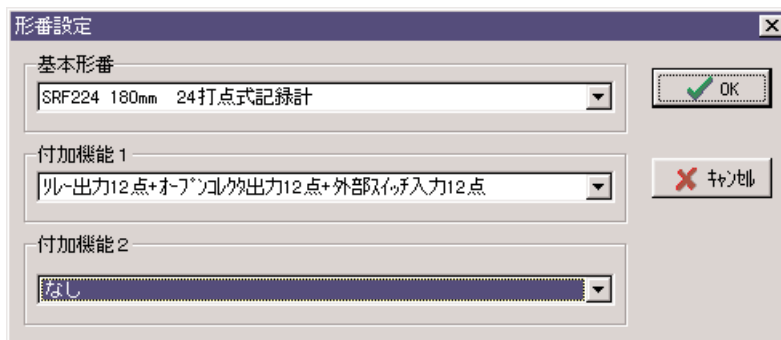
# 第3章 操作

## 3 - 1 オプションの設定

### ■ 形番設定

最初に本体の形番にあわせてローダの形番設定を行ってください。

- ① [形番設定] ボタンをクリックします。  
[オプション] の [形番設定] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[T] キーでも同じ処理が行えます。  
》 形番設定ダイアログボックスが表示されます。



- ② 基本形番、出力形式、付加機能1、付加機能2を設定します。
- ③ 各設定を選択項目の中から選択してください。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。

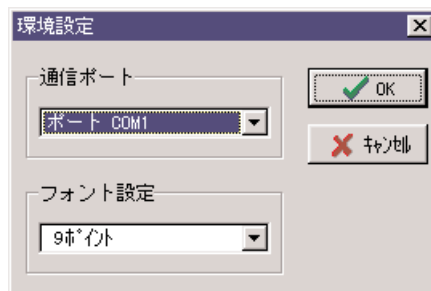
#### ❗ 取扱い上の注意

- ・ここで設定される形番は、ローダの内部で使用するための設定です。
- ・ローダでパラメータの設定をする際は、本体形番に合わせて形番設定をしてください。
- ・ローダで形番を変更しても、本体の形番は変わりません。

## ■ 環境設定

パソコンの通信ポートやフォントを設定します。

- ① [環境設定] ボタンをクリックします。  
[オプション] の [環境設定] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[E] キーでも同じ処理が行えます。  
》環境設定ダイアログボックスが表示されます。



- ② 通信ポートを設定します。  
各設定を選択してください。
- ③ フォントの大きさを設定します。  
各設定を選択してください。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。

### ❗ 取扱い上の注意

- ・通常は「COM1」を使用してください。  
選択可能な場合でも通信ポートの形状により使用できない場合があります。
- ・編集画面のフォントは専用フォントを使用するため変更できません。

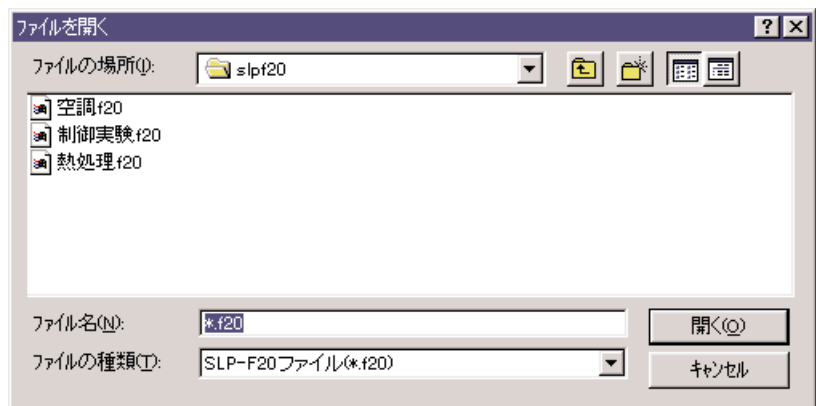
## 3 - 2 ファイルの操作

### ■ 新規ファイルを作成する

- ① [新規作成] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [新規作成] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[N] キーでも同じ処理が行えます。  
》新規作成ダイアログボックスが表示されます。
- ② [OK] ボタンをクリックします。  
》新規のファイルが開かれます。

### ■ 既存ファイルを作成する

- ① [開く] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [開く] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[O] キーでも同じ処理が行えます。  
》ファイルを開くダイアログボックスが表示されます。



- ② [ファイルの場所] でフォルダ名を選択します。
- ③ ファイル名をクリック(選択)します。
- ④ [開く] ボタンをクリックします。  
》設定したファイル名のファイルが開きます。

### ■ ファイルを上書き保存する

- ① [上書き保存] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [上書き保存] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[S] キーでも同じ処理が行えます。  
》ファイルが上書き保存されます。

---

## ■ ファイルに名前を付けて保存する

- ①[ファイル] の [ファイルに名前を付けて保存] を選択してください。  
また、[Ctrl]+[A]キーでも同じ処理が行えます。  
》名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。
- ②[保存する場所] でフォルダ名を選択してください。
- ③[ファイル名] にファイル名を入力します。
- ④[保存]ボタンをクリックします。  
》設定したファイル名でファイルが保存されます。

### 参考

[ファイル名] ウィンドウでファイル名をクリック(選択)したときは、上書き保存となります。

## ■ CSV形式ファイルを出力する

- ①[ファイル] の [CSV出力] を選択してください。  
また、[Ctrl]+[X]キーでも同じ処理が行えます。  
》CSV出力ダイアログボックスが表示されます。
- ②[保存する場所] でフォルダ名を選択します。
- ③[ファイル名] にファイル名を入力します。
- ④[保存]ボタンをクリックします。  
》設定したファイル名でファイルが出力されます。

### 参考

ファイル名ウィンドウでファイル名をクリック(選択)したときは、上書き保存となります。  
CSV形式はカンマで区切られたテキストファイルです。  
市販の表計算ソフト Microsoft Excelなどで利用可能です。

## 3 - 3 印刷

### ■ パラメータの印刷

#### ● 全項目を印刷する

- ① [印刷] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [印刷] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[P] キーでも同じ処理が行えます。  
》印刷実行ダイアログボックスが表示されます。
- ② 印刷実行ダイアログボックスの中から [全項目] を選択します。
- ③ [OK] ボタンをクリックします。  
》全パラメータが印刷されます。

#### ● 選択パラメータの全チャンネルを印刷する

- ① [印刷] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [印刷] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[P] キーでも同じ処理が行えます。  
》印刷実行ダイアログボックスが表示されます。
- ② 印刷実行ダイアログボックスの中から印刷したい項目を選択します。
- ③ 印刷実行ダイアログボックスの中から全チャンネルを選択します。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。  
》選択したパラメータが印刷されます。

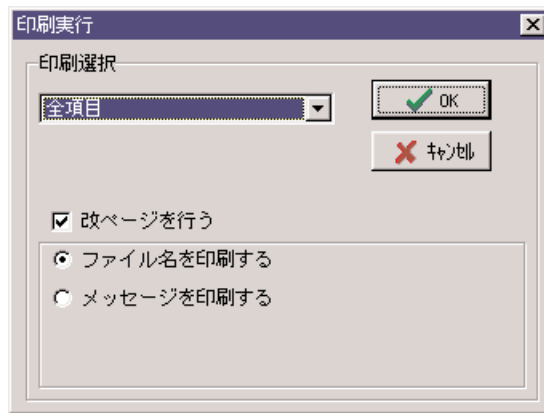
#### ● 選択パラメータのチャンネルを選択して印刷する

- ① [印刷] ボタンをクリックします。  
[ファイル] の [印刷] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[P] キーでも同じ処理が行えます。  
》印刷実行ダイアログボックスが表示されます。
- ② 印刷実行ダイアログボックスの中から印刷したい項目を選択します。
- ③ 印刷実行ダイアログボックスの中から印刷したいチャンネルを選択します。
- ④ [OK] ボタンをクリックします。  
》選択したパラメータが印刷されます。

#### ❗ 取扱い上の注意

SLP-F10 では、チャンネルを指定した印刷はできません。

• 印刷ダイアログボックス表示



• 印刷サンプル

形番:SRF224AS82XXX [無題] 99/06/01

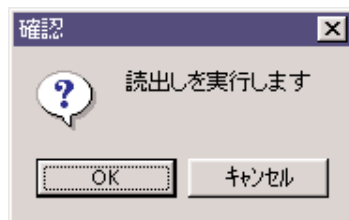
リッジ 設定							
番号	項目名	1リッジ	2リッジ	3リッジ	4リッジ	5リッジ	6リッジ
1	記録モード	2	2	2	2	2	2
2	リッジコード	5	5	5	5	5	5
3	リッジ 別種 No.	---	---	---	---	---	---
4	マーク	---	---	---	---	---	---
5	測定リッジ 下限	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000
6	測定リッジ 上限	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000	5.000
7	工業リッジ 小数点	1	1	1	1	1	1
8	工業リッジ 下限	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	工業リッジ 上限	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
10	リッジ	0	0	0	0	0	0
11	リッジ	0	0	0	0	0	0
12	工業単位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13	文字コード	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020
	リッジ	CH 1	CH 2	CH 3	CH 4	CH 5	CH 6
	文字コード	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020	202020202020
	文字コード (続き)	202043482031	202043482032	202043482033	202043482034	202043482035	202043482036

- 1/1 - SLP-F20J20 (SRF206, 212, 224) Ver1. 3. 0 Yamatake Corporation

## 3 - 4 本体との通信

### ■ 本体からローダへ通信する(ローダへ読み出す)

- ① [読み出し(SRF→SLP)]ボタンをクリックします。  
[通信] の [読み出し(SRF→SLP)] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[R]キーでも同じ処理が行えます。  
》確認ダイアログボックスが表示されます。



- ② [OK]ボタンをクリックします。  
》ローダへの読み出しを開始します。

### ■ ローダから本体へ通信する(ローダから書き込む)

- ① [書き込み(SLP→SRF)]ボタンをクリックします。  
[通信] の [書き込み(SLP→SRF)] を選択しても同じ処理が行えます。  
また、[Ctrl]+[W]キーでも同じ処理が行えます。  
》確認ダイアログボックスが表示されます。
- ② [OK]ボタンをクリックします。  
》本体への書き込みを開始します。

#### ❗ 取扱い上の注意

本体とローダで設定した形番がない場合は、形番が異なっていることを表示します。

### ■ 日付/時刻を本体に設定する

- ① [通信] の [日付/時刻書き込み] を選択します。  
また、[Ctrl]+[D]キーでも同じ処理が行えます。  
》日付/時刻書き込みダイアログボックスが表示されます。
- ② [OK]ボタンをクリックします。  
》ローダへの日付/時刻書き込みを開始します。

#### ❗ 取扱い上の注意

パソコンの時刻はあらかじめ設定しておいてください。

## 3 - 5 データの設定

### ■ 設定項目を選択する

#### ● キーボードで反転表示を移動する

① [→]、[←]、[↑]、[↓]キーを押すと表の中で反転表示が移動します。

#### ● マウスで反転表示を移動する

① 移動したい部分でクリックします。

② スクロールバーをクリックします。

》画面がスクロールします。最上段、最下段が表示されているときはそれ以上スクロールしません。

#### ● 操作するウィンドウを変更する

① [Tab]キーを押します。

》操作対象のウィンドウを移動します。

#### 📖 参考

設定できる部分を順番に移動します。

### ■ 数値データを入力する

#### ● 数値の入力方法

数値の入力方法は次のとおりです。

- ・数値を入力したいときはキーボードの[0]～[9]キーを押します。
- ・16進数を入力したいときはキーボードの[0]～[9]キー、[A]～[F]キーを押します。
- ・小数点を入力したいときは希望の位置で[.]キーを押します。
- ・マイナス値を入力したいときは[-]キーを押します。
- ・入力を間違えて、1文字消したいときは[Back Space]キーを押します。  
》表示されている値が1文字消えます。
- ・入力中の数値をキャンセルしたいときは[Esc]キーを押します。  
》元の設定値が表示されます。

#### ● 設定項目への入力

設定項目への入力は[0]～[9]キーを使用します。

① 設定項目を選択(反転表示)します。

② 希望の設定値を[0]～[9]キーにより入力します。

③ [Ent]キーを押します。また、[↑]、[↓]キーでも同じ処理が行えます。  
》設定値が確定されます。

### 参考

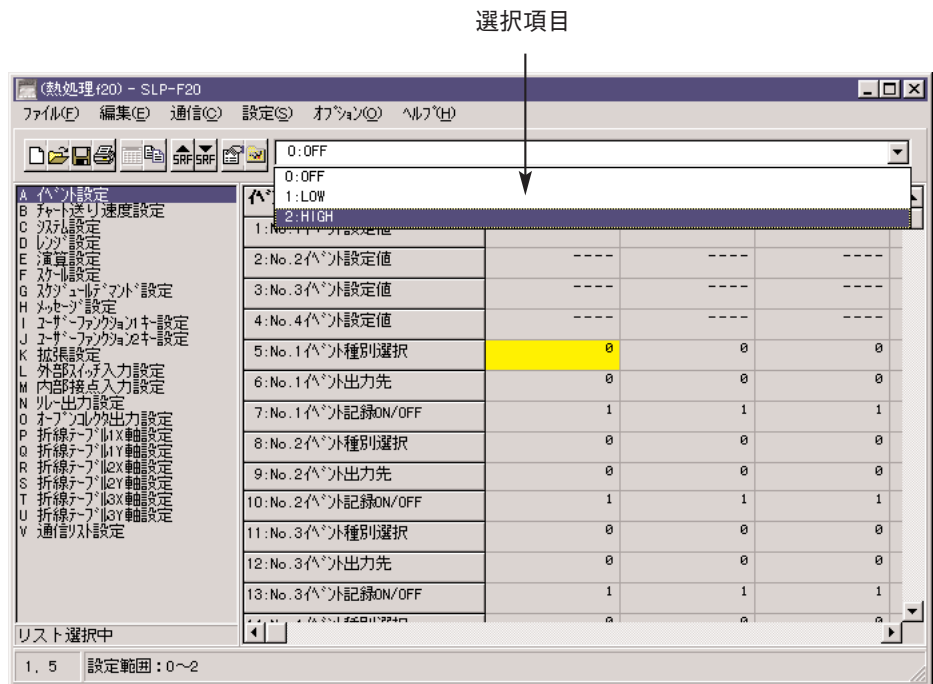
- ・[↑]、[↓]キーの場合、数値確定後に反転表示が移動します。  
マウスで設定項目を移動したときは、設定値は確定されません。
- ・設定値が無効なときは、元の設定値が表示されます。  
途中で取り消したいときは、設定値を確定する前に[Esc]キーを押します。

## ● データを選択して入力する

### 参考

選択入力ができる項目では自動的に項目が表示されます。

- ① 設定項目のボタンを押します。  
[Tab]、[Alt]+[↓]キーを押しても同じ処理が行えます。  
》 選択項目が表示されます。



- ② マウスで設定を選択します。  
[→]、[←]、[↑]、[↓]キー、[Ent]キーでも同じ処理が行えます。  
》 設定値が確定されます。

### 参考

マウスを使用の場合、クリックで選択と決定が同時に行われます。

## ■ 文字データを入力する

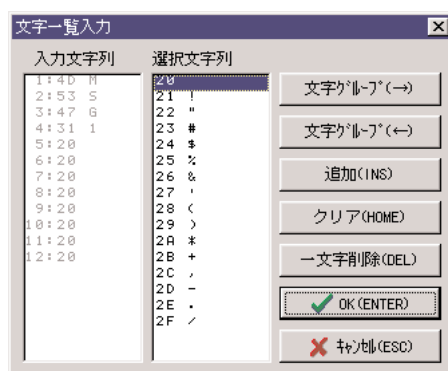
### ● 文字データの入力方法

文字データの入力方法は次のとおりです。

- ・入力を間違えて、1文字消したいときは[Delete]キーを押します。  
》表示されている値が1文字消えます。
- ・すべて削除したいときは[Home]キーを押します。
- ・入力中にキャンセルしたいときは、設定値を確定する前に[Esc]キーを押します。  
》元の設定値が表示されます。

### ● 文字データを選択して入力する

- ① 設定項目を選択(反転表示)します。
- ② [Enter]キーを押します。  
また、[編集]の[文字入力一覧]を選択しても同じ処理が行えます。  
》文字一覧入力が表示されます。



- ③ [Home]キーを押して現在の入力をクリアします。
- ④ [→]、[←]キーで文字グループを選択します。  
また、[文字グループ(→)]ボタン、[文字グループ(←)]ボタンを選択しても同じ処理が行えます。
- ⑤ [↑]、[↓]キーで文字を選択します。  
また、マウスでクリックしても同じ処理が行えます。
- ⑥ [Insert]キーで文字を追加します。  
また、マウスでダブルクリックしても同じ処理が行えます。
- ⑦ ④から⑥を必要な回数繰り返します。
- ⑧ [Enter]キーを押して確定します。  
また、[OK]ボタンでも同じ処理が行えます。  
》設定値が確定されます。

### ❗ 取扱い上の注意

文字データの直接入力はできません。  
日付タイプがJP以外のときは、カタカナのコードは選択できません。  
(SRF206/212/224とSLP-F20の組み合わせに限ります)

# 第4章 トラブルシューティング

## 4-1 エラーメッセージ

### ■ 通信エラーメッセージ

分類	メッセージ	内容	対処方法
通信エラー	タイムアウト	タイムアウト時間内に電文を受信できなかった	ケーブルの接続、接触を確認してください
	通信ポートをオープンできません	通信ポートをオープンできなかった	他の通信ポートを使用しているソフトと同時に使用しないでください
	通信エラーが発生しました	システムのエラーが発生した	ローダを終了させ、Windowsを再起動してください
本体状態エラー	接続中の計器を確認してください	接続されている計器がSRF100/200以外のものである SRF100/200が接続されていない	SRF100/200に接続して使用してください
	接続中のSRF100/SRF200をサポートできません	使用しているローダと本体のバージョンが対応していない	当社支店、営業所、および販売店にご相談ください

### ■ ファイルエラーメッセージ

分類	メッセージ	内容	対処方法
ファイル名エラー	このファイル名は無効です	無効なファイル名を入力した	正しいファイル名を入力してください
	このファイル名が見つかりません パスとファイル名を確認してください	存在しないファイル名を入力した	存在するファイル名を正しく入力してください
	このファイル名はデバイス名として予約されています 別の名前を指定してください	デバイス名として予約されているファイル名を入力した	正しいファイル名を入力してください
ディスクエラー	ディスクの空き容量が不足です	ディスクの空き容量が不足している	ディスクの空き容量を十分に確保してください
	デバイスの準備ができていません	ディスクが準備できていない	ディスクを準備したあと、再度操作を行ってください
	ファイルを作成できません	ファイルが作成できなかった	別の場所に保存してください
	ファイル名が長すぎます	ファイル名が長すぎた	ファイル名を255文字以下にしてください
パス名エラー	パス名が存在しません パス名を確認してください	不正なパス名を入力した	正しいパス名を入力し、再度操作を行ってください
ファイル情報エラー	ファイルサイズが不正です	ファイルが壊れている	壊れたファイルは使用できません 再度、作成してください
	ファイル情報が不正です		

### ■ 印刷エラーメッセージ

分類	メッセージ	内容	対処方法
印刷エラー	Unable to begin printing	プリンタ設定を間違えている	プリンタ設定を修正した後、再度操作を行ってください

### ■ 起動エラーメッセージ

分類	メッセージ	内容	対処方法
ローダシステムエラー	一度に複数のSLP-F10/F20を起動することはできません	ローダを多重起動した	[OK]ボタンを押してください

# 付 録

## ■ コード表

上位4ビット→

	2	3	4	5	6	7	8	A	B	C	D
0		0	@	P	`	p	³		ー	タ	ミ
1	!	1	A	Q	a	q	°	。	ア	チ	ム
2	"	2	B	R	b	r	°	「	イ	ツ	メ
3	#	3	C	S	c	s	.	」	ウ	テ	モ
4	\$	4	D	T	d	t		、	エ	ト	ヤ
5	%	5	E	U	e	u		.	オ	ナ	ユ
6	&	6	F	V	f	v		ヲ	カ	ニ	ヨ
7	'	7	G	W	g	w		ア	キ	ヌ	ラ
8	(	8	H	X	h	x		イ	ク	ネ	リ
9	)	9	I	Y	i	y		ウ	ケ	ノ	ル
A	*	:	J	Z	j	z		エ	コ	ハ	レ
B	+	;	K	[	k	Ω		オ	サ	ヒ	ロ
C	,	<	L	¥	l			ヤ	シ	フ	ワ
D	-	=	M	]	m	μ		ユ	ス	ヘ	ン
E	.	>	N	^	n	²		ヨ	セ	ホ	°
F	/	?	O	_	o	₂		ツ	ソ	マ	°

下位4ビット↓

SLP-F10でサポートできるコード

SLP-F20でサポートできるコード

## 改訂履歴

印刷年月	資料番号	種 類	改訂ページ	改訂内容
98-04	CP-UM-5067	初 版		
99-12		第 2 版		SLP-F10(SRF100)の追加 ローダ取説文統一と製作ツール変更による 全面改訂
00-12		第 3 版	全体 表2 J18 J20	和文/英文合本化により、全ページに"J"を追加 重要事項(ローダプラグについて) 追加 取扱い上の注意へ説明文追加 付録 コード表整備
03-01		第 4 版	見返し	使用上の制限について 変更
06-04		第 5 版	全体 見返し J2 J4	動作環境 Windows95→Windows95/98/Me/2000/XPとする ローダプラグに関する注意のイラストを変更 シリアルポートについての説明を追加 インストールの方法①～③の説明変更



SRF100/200記録計用 スマートローダパッケージ SLP-F10/F20 取扱説明書

CP-UM-5067

初 版 1998年 4月 発行

第 5 版 2006年 4月 改訂

編 集 株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー

発 行 株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー

〒100-6419


東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

# 株式会社 山 武

アドバンスオートメーションカンパニー

本 社 〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル

北海道支店 ☎(011)781-5396	中部支社 ☎(052)238-3037
東北支店 ☎(022)292-2004	関西支社 ☎(06)6881-3383～4
北関東支店 ☎(048)653-8733	中国支店 ☎(082)222-3982
東京支社 ☎(03)6810-1200	九州支社 ☎(093)953-0631

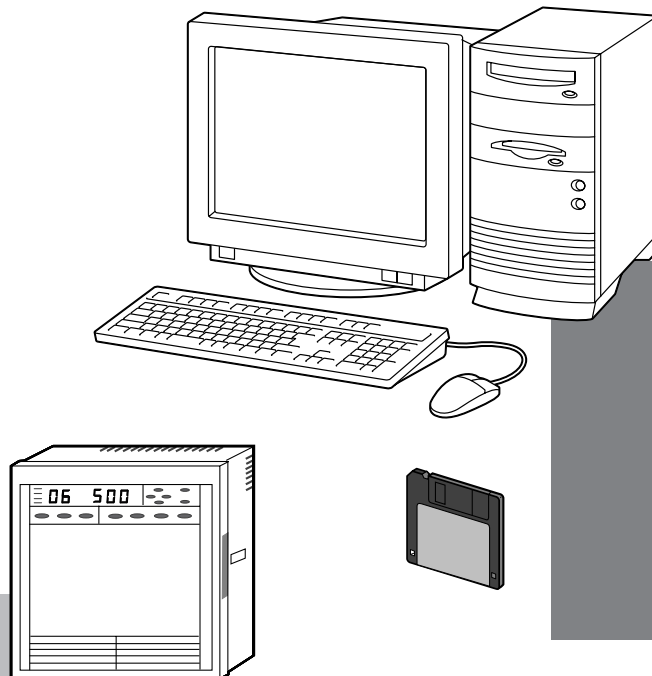
 製品のお問い合わせ、計装のご相談は…  
コールセンター:☎0466-20-2143

〈COMPO CLUBアドレス〉 <http://www.compoclub.com/>  
〈山武ホームページアドレス〉 <http://jp.yamatake.com/>

〔ご注意〕この資料の記載内容は、お断りなく変更する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、下記または当社事業所へお願いいたします。

# SLP-F10/F20 Smart Loader Package for SRF100/SRF200 Smart Recorder User's Manual



Thank you for purchasing the SLP-F10/F20 Smart Loader Package for SRF100/200 Smart Recorder.

This manual contains information for ensuring correct use of the SLP-F10/F20. It also provides necessary information for installation, maintenance, and trouble-shooting.

This manual should be read by those who design and maintain devices that use the SLP-F10/F20.

Be sure to keep this manual nearby for handy reference.

Yamatake Corporation

---

---

## RESTRICTIONS ON USE

---

---

This product has been designed, developed and manufactured for general-purpose application in machinery and equipment.

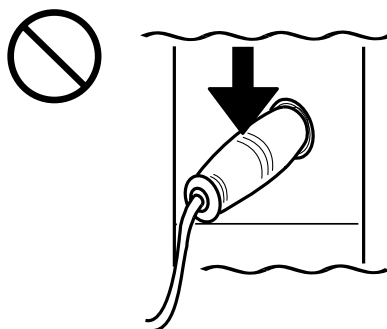
Accordingly, when used in applications outlined below, special care should be taken to implement a fail-safe and/or redundant design concept as well as a periodic maintenance program.

- Safety devices for plant worker protection
- Start/stop control devices for transportation and material handling machines
- Aeronautical/aerospace machines
- Control devices for nuclear reactors

Never use this product in applications where human safety may be put at risk.

### IMPORTANT

Do not apply a strong force while connecting a loader plug. Failure to do so might damage the recorder.



#### **!** Handling Precautions

Application of excessive force to the loader plug might cause communication failure. If such failure happens, reconnect the loader plug correctly.

### NOTICE

---

Be sure that the user receives this manual before the product is used.

Copying or duplicating this user's manual in part or in whole is forbidden. The information and specifications in this manual are subject to change without notice.

Considerable effort has been made to ensure that this manual is free from inaccuracies and omissions. If you should find an error or omission, please contact Yamatake Corporation.

In no event is Yamatake Corporation liable to anyone for any indirect, special or consequential damages as a result of using this product.

---

# Unpacking


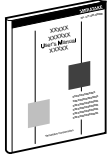
Check the following when removing the Smart Loader Package SLP-F10/F20 from its package.

1. Check the model No. to make sure that you have received the product that you ordered.
2. Check the SLP-F10/F20 for any apparent physical damage.
3. Check the contents of the package against the Package List to make sure that all accessories are included in the package.



After unpacking, handle the SLP-F10/F20 and its accessories taking care to prevent damage or loss of parts.

If an inconsistency is found or the package contents are not in order, immediately contact your dealer.

## Accessories of the SLP-F20

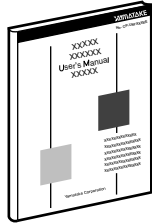
Name	Model No.	Q'ty	Remarks
SLP-F20 System Disk 	SLP-F20J20	1	3.5 inch disk (1.44 MB) x 1 disk
Special Cable		1	
User's Manual 	CP-UM-5067E	1	This manual. This manual is the common manual of the SLP-F10 and the SLP-F20.

## Accessories of the SLP-F10

Name	Model No.	Q'ty	Remarks
SLP-F10 System Disk 	SLP-F10J20	1	3.5 inch disk (1.44 MB) x 1 disk
Special Cable		1	
User's Manual 	CP-UM-5067E	1	This manual. This manual is the common manual of the SLP-F10 and the SLP-F20.

# The Role of This Manual

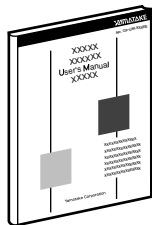
In all, 7 manuals have been prepared for the SRF100/200. Read the manual according to your specific requirements. The following lists all the manuals that accompany the SRF100/200 and gives a brief outline of the manual: If you do not have the required manual, contact Yamatake Corporation or your dealer.



## **Smart Recorder Dot Printing Model SRF206/212/224 Installation/Operation** **Manual No.CP-SP-1027E**

This manual is required reading for those who use the SRF206/212/224, those who design hardware for integrating the SRF206/212/224 into operator control panels, those who carry out maintenance, and those who operate instruments in which the SRF206/212/224 is integrated.

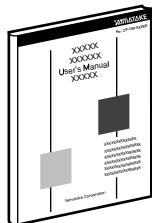
It describes how to install and wire the SRF206/212/224 for integrating into instruments, method of operation, maintenance and inspection, troubleshooting, and hardware specifications.



## **Smart Recorder Pen Printing Model SRF201/202/203 Installation/Operation** **Manual No.CP-SP-1037E**

This manual is required reading for those who use the SRF201/202/203, those who design hardware for integrating the SRF201/202/203 into operator control panels, those who carry out maintenance, and those who operate instruments in which the SRF201/202/203 is integrated.

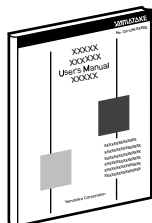
It describes how to install and wire the SRF201/202/203 for integrating into instruments, method of operation, maintenance and inspection, troubleshooting, and hardware specifications.



## **Smart Recorder Dot Printing Model SRF106 Installation/Operation** **Manual No.CP-UM-1666E**

This manual is required reading for those who use the SRF106, those who design hardware for integrating the SRF106 into operator control panels, those who carry out maintenance, and those who operate instruments in which the SRF106 is integrated.

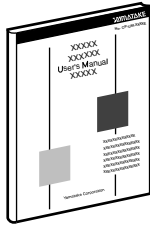
It describes how to install and wire the SRF106 for integrating into instruments, method of operation, maintenance and inspection, troubleshooting, and hardware specifications.



## **Smart Recorder Pen Printing Model SRF101/102/103 Installation/Operation** **Manual No.CP-UM-1667E**

This manual is required reading for those who use the SRF101/102/103, those who design hardware for integrating the SRF101/102/103 into operator control panels, those who carry out maintenance, and those who operate instruments in which the SRF101/102/103 is integrated.

It describes how to install and wire the SRF101/102/103 for integrating into instruments, method of operation, maintenance and inspection, troubleshooting, and hardware specifications.

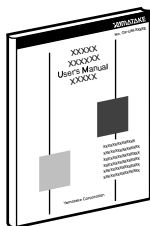


**DigitroniK CPL Communications Manual SRF206/212/224  
Dot Printing Model Version** **Manual No.CP-SP-1208E**

The SRF206/212/224 can communicate with other equipment via the RS-485 or RS-232C interfaces.

This manual is required reading for those who use the CPL communication functions of the SRF206/212/224.

It briefly describes CPL communications, how to wire the SRF206/212/224, communication procedures, communication data for the SRF206/212/224, troubleshooting and communication specifications.

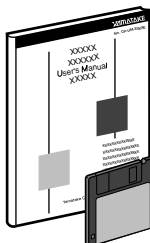


**DigitroniK CPL Communications Manual  
SRF101/102/103/106/201/202/203** **Manual No.CP-UM-1668E**

The SRF101/102/103/106/201/202/203 can communicate with other equipment via the RS-485 or RS-232C interfaces.

This manual is required reading for those who use the CPL communication functions of the SRF101/102/103/106/201/202/203.

It briefly describes CPL communications, how to wire the SRF101/102/103/106/201/202/203, communication procedures, communication data for the SRF101/102/103/106/201/202/203, troubleshooting and communication specifications.



**SLP-F10/F20 Smart Loader Package for SRF100/200 Smart Recorder**  
**Manual No.CP-UM-5067E**

This Manual.

This manual is packaged with the SLP-F10/F20.

Running the SLP-F10/F20 package on a personal computer enables you to set up SRF100/200 parameters on the personal computer.

This manual describes operations on the personal computer.

This manual is the common manual of the SLP-F10 and the SLP-F20.

# Organization of This User's Manual

---

This manual is organized as follows:

## Chapter 1. INTRODUCTION

This chapter describes SLP applications and features, and operating environment.

## Chapter 2. INSTALLATION & BASIC FUNCTIONS

This chapter describes how to install, start up and quit the SLP, its functions, screen configurations and basic operations.

## Chapter 3. OPERATION

This chapter describes how to set the type, file operations, printing, communications with the SRF and operations relating to data setup.

## Chapter 4. TROUBLESHOOTING

This chapter describes error messages that are displayed when trouble occurs, and how to remedy trouble.

## Appendix

This chapter gives a code table.

# Conventions Used in This Manual

---

The following conventions are used in this manual:

### Handling Precautions :

Handling Precautions indicate items that the user should pay attention to when handling the SLP-F10 or the SLP-F20.

### Note :

Notes indicate useful information that the user might benefit by knowing.

(1), (2), (3) :

The numbers with the parenthesis indicate steps in a sequence or indicate corresponding parts in an explanation.

<OK> :

Indicates a selection button in screens displayed on the personal computer.

[File] :

Indicates messages and menus displayed on the personal computer.



[Over Write]



>> :

Indicates the result of an operation, details displayed on the personal computer or devices, or the state of a device after an operation.

Key, Key :

Indicates keys on the keyboard.

Key+Key :

Indicates the operation of pressing the Key while the Key is pressed on the keyboard.

\* Each dialog box explanation of the personal computer is being done by using the dialog box of the SLP-F20 in this user's manual.

# Contents

---

Unpacking	
The Role of This Manual	
Organization of This User's Manual	
Conventions Used in This Manual	

## Chapter 1. INTRODUCTION

1-1	Outline of the SLP	E1
1-2	System Operating Environment	E2
■	Hardware	E2
■	Hardware Configuration	E3
■	Compatible Equipment	E3

## Chapter 2. INSTALLATION & BASIC FUNCTIONS

2-1	Installing SLP	E4
2-2	Starting Up and Quitting SLP	E6
■	Starting Up SLP	E6
■	Quitting SLP	E6
2-3	Description of Functions	E7
■	SLP Functions	E7
2-4	Screen Configuration	E8
■	SLP Screen Configuration	E8

## Chapter 3. OPERATION

3-1	Setting Up Options	E9
■	Setting the Type	E9
■	Setting the Environment	E10
3-2	File Operations	E11
■	Making New Files	E11
■	Opening Existing Files	E11
■	Overwriting and Saving Files	E11
■	Saving Files With a New Name	E12
■	Outputting CSV Format Files	E12
3-3	Printing	E13
■	Printing Parameters	E13
3-4	Communications with the SRF	E15
■	Communicating to the SLP from the SRF (reading to SLP)	E15
■	Communicating to the SRF from the SLP (writing from SLP)	E15
■	Setting the Date and Time on the SRF	E15
3-5	Setting Up Data	E16
■	Selecting Setup Items	E16
■	Entering Numerical Data	E16
■	Entering Text Data	E18

---

## Chapter 4. TROUBLESHOOTING

4-1	Error Messages .....	E20
■	Communications Error Messages .....	E20
■	File Error Messages .....	E20
■	Printing Error Messages .....	E20
■	Startup Error Messages .....	E20

## Appendix

■	Code Table .....	E21
---	------------------	-----

# Chapter 1. INTRODUCTION

## 1 - 1 Outline of the SLP

---

The SLP-F10/F20 (simply called “SLP” from here on) is an engineering tool for the Smart Recorder SRF100/200 (simply called “SRF” from here on).

The SLP software package runs on Windows95/98/Me/2000/XP on a personal computer.

The SLP has the following functions:

- Parameter setup
- Communications with SRF (reading/writing of parameters)
- File operations (reading/writing of parameters)
- Printing (printing of parameters)

The SRF which can be set up with each SLP is as the following.

Model No. of SLP	Model No. of SRF
SLP-F20	SRF206/212/224
SLP-F10	SRF101/102/103 SRF201/202/203 SRF106

### Note

Install SLP on the hard disk following the procedure in “2-1 Installing SLP”.  
Use the system disk that you have purchased as the backup system.

### Handling Precautions

These disks do not contain the system, and cannot be used as they are.

## 1 - 2 System Operating Environment

The following system environment is required for using the SLP:

### ■ Hardware

Item	Description	
Personal Computer	Target model	PC/AT compatibles with a Pentium chip or higher
	Memory	24MB or more
	Operating system	Windows95/98/Me/2000/XP (simply called "Windows" from here on)
Peripheral Devices	Display	Windows compatible display connectable to or built-into computer body
	Printer	Windows compatible printer having a windows compatible printer driver capable of printing A4 landscape
	Serial port *	At least 1 serial port (9pin D-Sub)
	Hard disk drive	Hard disk with at least 40MB of free space
	Floppy disk drive	At least 1 drive capable of reading the floppy disk in the product package (1.44MB format)
	Pointing device	Windows compatible mouse or equivalent device

\*: Serial port

It is recommended to use a personal computer with 9-pin serial port built-in.

If your personal computer does not have any serial port, you may use any of the extension adaptors listed below to connect the loader cable.

However, note that the operation may become unstable depending on the personal computer environment.

- Special interface (port replicator)

Adaptor specially designed for each personal computer (special adaptor for each personal computer model)

- CF card adaptor

CF232 manufactured by Elan Digital systems

URL: <http://www.elandigitalsystems.com/interface/cf232.php>

Operation confirmed personal computer, IBM's Thinkpad A31

REX-CF60 manufacture by RATOOC.

URL: <http://www.ratocsystems.com/products/subpage/cf60.html>(Japanese)

- USB adaptor

USB-RSAQ3 manufactured by I•O DATA DEVCE, INC.

URL: <http://www.iodata.jp/prod/mobile/serial/2004/usb-rsaq3/>(Japanese)

Operation confirmed personal computer, IBM's Thinkpad A31

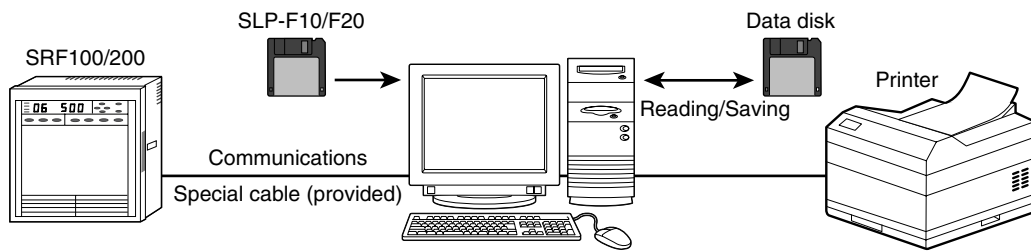
When connecting the USB cable, check the port No.

The port No. may vary depending on the USB cable connection position.

### ! Handling Precautions

- Before using the print function, make sure that your printer can be operated.
- Before starting up SLP, quit all other applications.  
If you start up SLP while another application is running, SLP may malfunction.

## ■ Hardware Configuration



## ■ Compatible Equipment

Operation of SLP has been confirmed on the equipment in the following table:

	Manufacturer	Model No.
PC	Dell	Optiplex Gxi5200
	Dell	Optiplex GX5166
	Fujitsu	FMV-5166T3
Printer	Canon	LBP-720
	Canon	BJC-620JW
	EPSON	LP-1000

# Chapter 2. INSTALLATION & BASIC FUNCTIONS

## 2 - 1 Installing SLP

This section describes how to install the SLP on a personal computer.

### Handling Precautions

If you start up the Installer while another application is running, the Installer may malfunction.

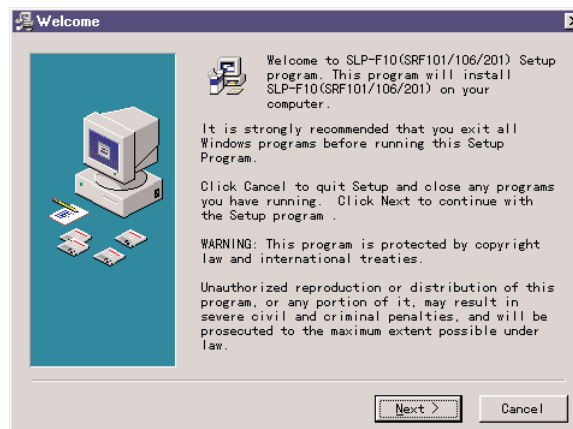
Remove other resident applications from their directories before starting up the Installer.

The SLP sometimes cannot be started up depending on the combination of other applications and drivers.

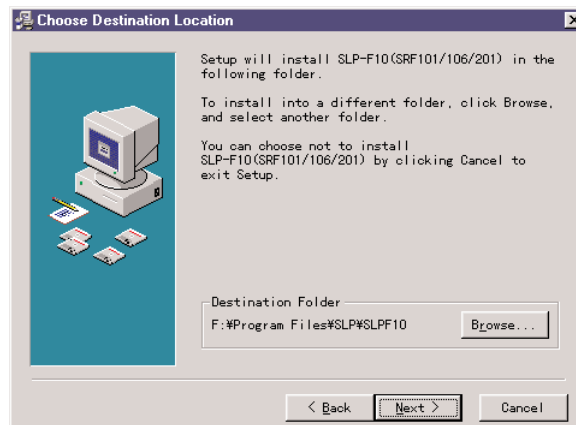
For details on Windows and personal computer settings, refer to the User's Manuals provided with Windows and the personal computer.

### ● Installing SLP

- (1) Click the [Start] button at the bottom of the screen, and then click [Run...].
- (2) [A:\SETUP] inputs from keyboard.
- (3) Insert the disk provided with the software package into the disk drive, click <OK>.  
>>The Installer is started.



- (4) Click [Next>].

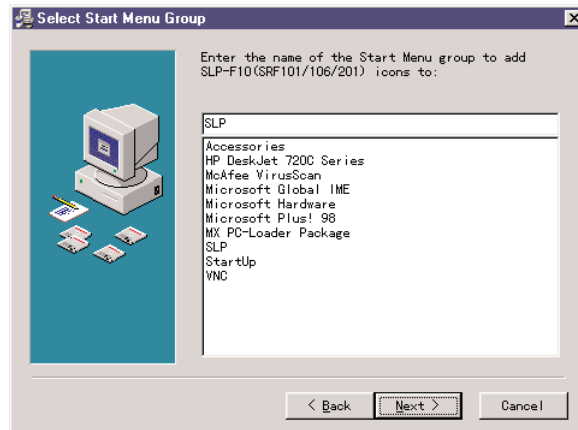


### Note

To change the installation destination directory, click [Browse...].

(5) Click [Next>].

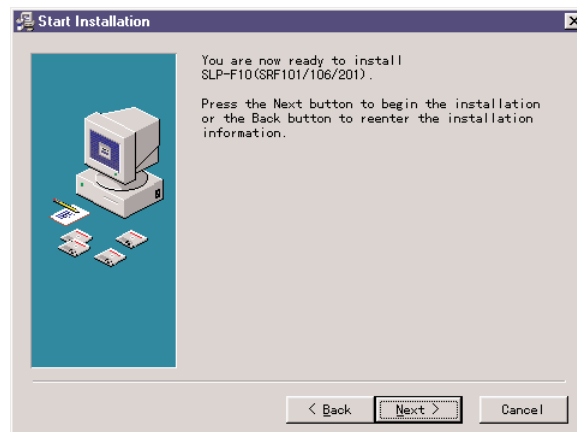
>>The following screen appears:



**Note**

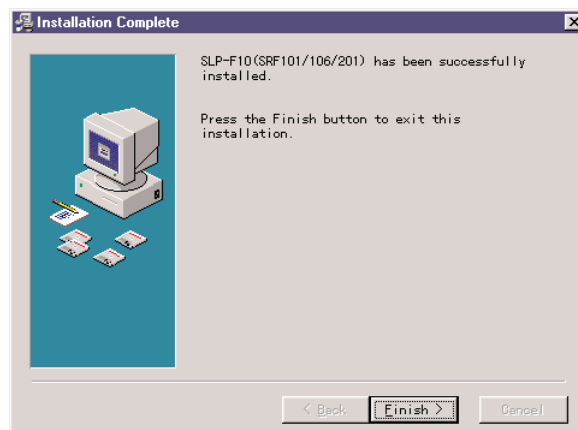
To change the program folder, enter the new folder name.

(6) Click [Next>].



(7) Click [Next>].

>>When installation ends normally, the following screen appears:



(8) Click [Finish].

>>The installer is finished.

## 2 - 2 Starting Up and Quitting SLP

---

### ■ Starting Up SLP

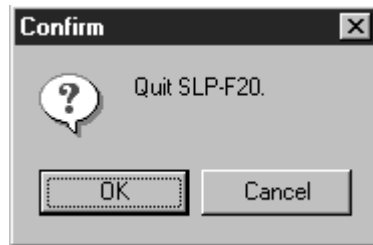
- (1) Click [Start] at the bottom of the screen, and click the SLP-F\*\* (SRF\*\*) under [Programs]-[SLP].
  - >>The SLP is started up, and the opening screen appears.
  - >>The menu window is displayed.

#### Note

For details on the operating system and the mouse you are using, refer to the User's Manual provided with Windows95.

### ■ Quitting SLP

- (1) Click <close> at the top right of the screen.  
The operation is the same by selecting the [File]-[Quit SLP-F\*\*] command.
  - >>The following screen appears:



- (2) Click <OK>.

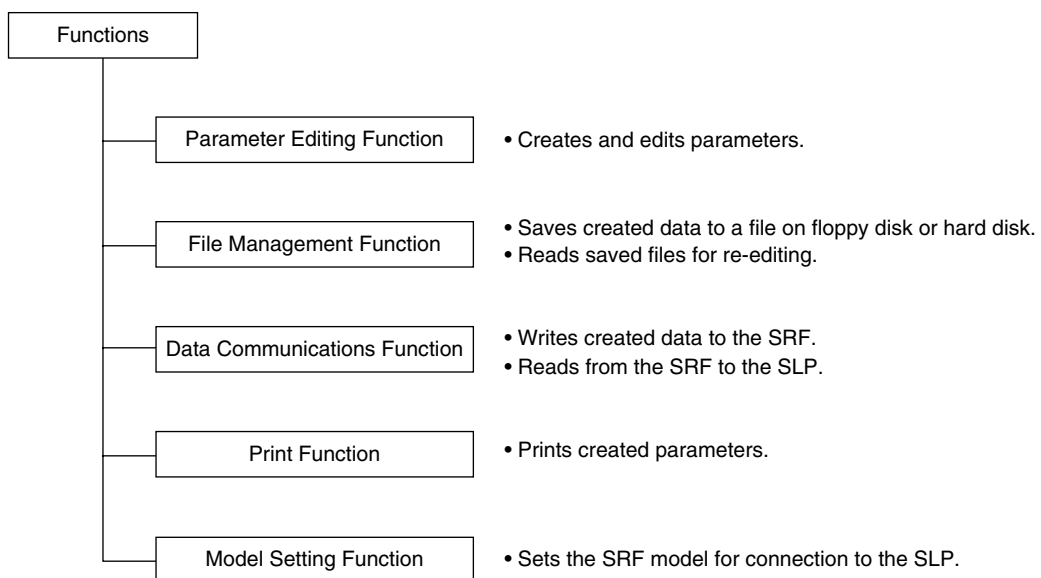
## 2 - 3 Description of Functions

### ■ SLP Functions

The SLP is provided with the following functions for configuring SRF functions:

- Parameter Editing Function
- File Management Function
- Data Communications Function
- Print Function
- Model Setting Function

The figure below shows operations available by these functions.



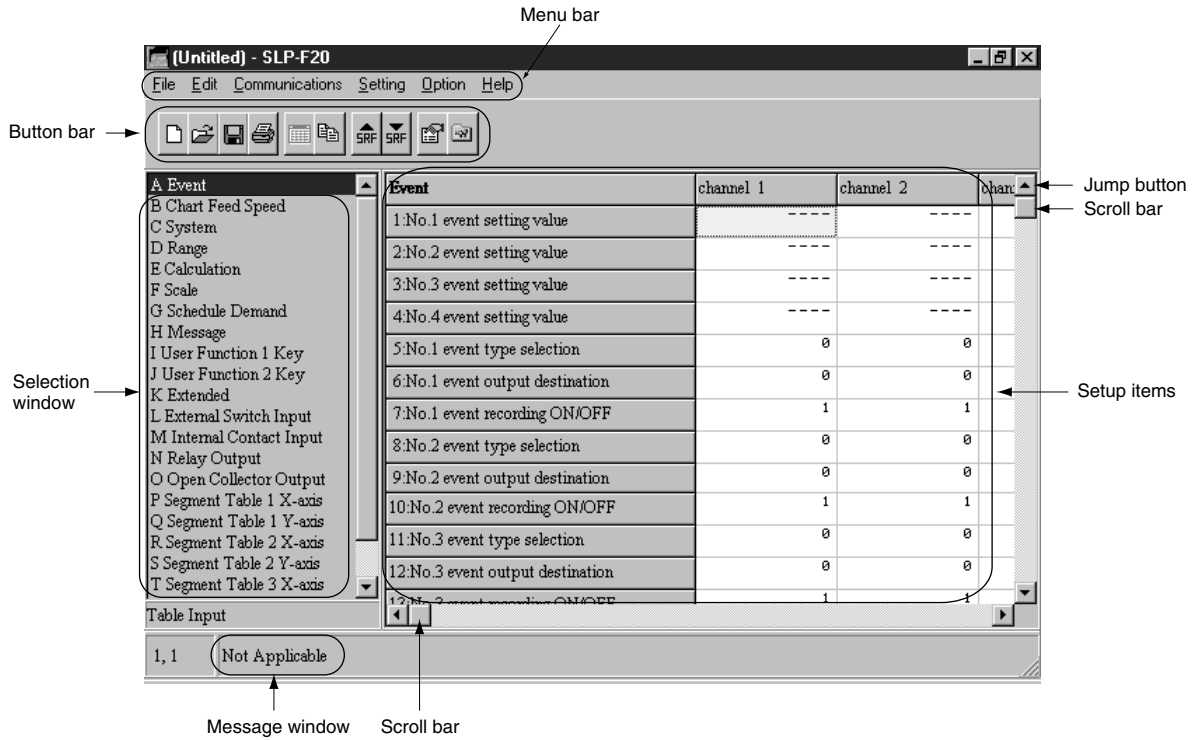
### Note

“One file” refers to data for one SRF. Each file comprises the various parameter settings and the model number information.

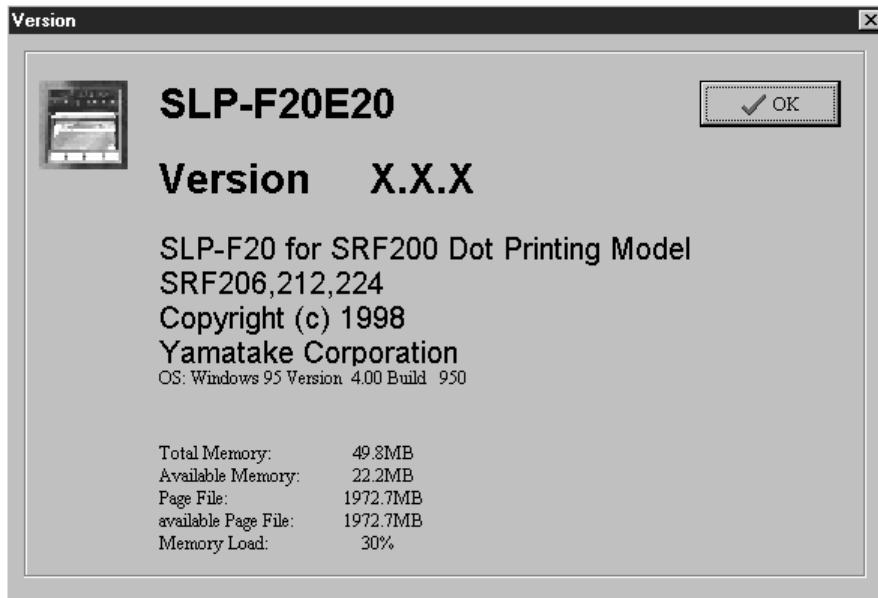
## 2 - 4 Screen Configuration

### ■ SLP Screen Configuration

- Basic SLP screen



- Dialog box displayed when [Help]-[Version] is selected



# Chapter 3. OPERATION

## 3 - 1 Setting Up Options

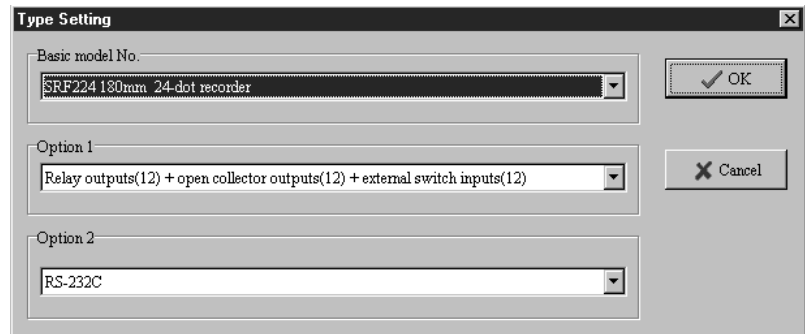
### ■ Setting the Type

First, set the SLP type matched to the SRF model No.

(1) Click <Type Setting>.

The operation is the same by selecting the [Option]-[Type Setting] command or the **Ctrl** + **T** keys.

>>The Type Setting dialog box appears.



(2) Set the basic model No., output format, and additional functions 1 and 2.

(3) Select the desired setting from each of the selection items.

(4) Click <OK>.

### ! Handling Precautions

- The model No. you set here is for internal use by the SLP.
- Set up the Model No. and options of the SRF which it tries to set up on the Type Setting screen of the SLP before you set up parameters of the SRF.
- The model No. of the SRF does not change even if the type is changed on the SLP.

---

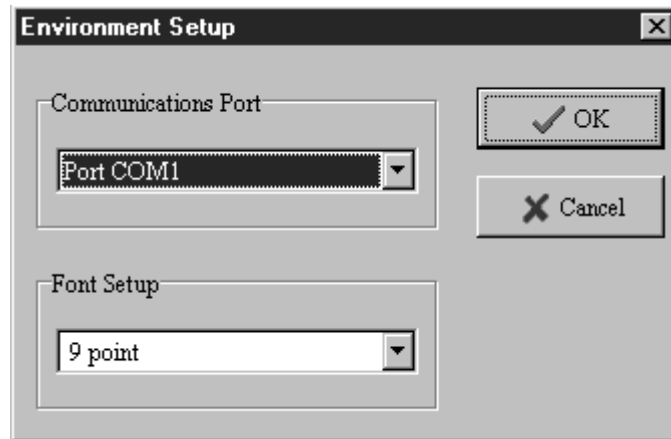
## ■ Setting the Environment

Set the communications port and font on the personal computer.

(1) Click <Environment Setup>.

The operation is the same by selecting the [Option]-[Environment Setup] command or the **Ctrl** + **E** keys.

>>The Environment Setup dialog box appears.



(2) Set the communications port.

Select the various settings.

(3) Set the font size.

Select the various settings.

(4) Click <OK>.

### **!** Handling Precautions

- Normally, use "COM1".

Even if another communications port can be selected, it sometimes cannot be used depending on its shape of connector.

- Special fonts are used for editing screens, and cannot be changed.

## 3 - 2 File Operations

### ■ Making New Files

- (1) Click <New>.

The operation is the same by selecting the [File]-[New] command or the **Ctrl**

+ **N** keys.

>>The New dialog box appears.

- (2) Click <OK>.

>>A new file opens.

### ■ Opening Existing Files

- (1) Click <Open>.

The operation is the same by selecting the [File]-[Open] command or the **Ctrl**

+ **O** keys.

>>The [Open] dialog box appears.



- (2) Select the folder name in [Look in...].

- (3) Click (select) the file name.

- (4) Click <Open>.

>>The file having the name that you set opens.

### ■ Overwriting and Saving Files

- (1) Click (select) <Save>.

The operation is the same by selecting the [File]-[Save] command or the **Ctrl**

+ **S** keys.

>>The file is overwritten and saved.

### ■ Saving Files With a New Name

- (1) Select the [File]-[Save As] command.  
The operation is the same by selecting the **Ctrl** + **A** keys.  
>>The [Save As] dialog box appears.
- (2) Select the folder name under [Save in].
- (3) Enter the file name to [File name].
- (4) Click <Save>.  
>>The file is saved under the file name that you set.

 **Note**

The file is overwritten and saved when you click (select) the file name at the [File name] window.

### ■ Outputting CSV Format Files

- (1) Select the [File]-[CSV Out] command.  
The operation is the same by selecting the **Ctrl** + **X** keys.  
>>The [CSV Output] dialog box appears.
- (2) Select the folder name under [Save in].
- (3) Enter the file name to [File name].
- (4) Click <Save>.  
>>The file is output under the file name that you set.

 **Note**

The file is overwritten and saved when you click (select) the file name at the [File name] window.

A CSV format file is a text file delimited by commas, and can be used in Microsoft Excel or other off-the-shelf spreadsheet applications.

## 3 - 3 Printing

### ■ Printing Parameters

#### ● Printing all items

- (1) Click <Print>.

The operation is the same by selecting the [File]-[Print] command or the **Ctrl** + **P** keys.

>>The Print Execution dialog box appears.

- (2) Select [ALL] from the Print Execution dialog box.
- (3) Click <OK>.

>>All parameters are printed.

#### ● Printing all channels of selected parameters

- (1) Click <Print>.

The operation is the same by selecting the [File]-[Print] command or the **Ctrl** + **P** keys.

>>The Print Execution dialog box appears.

- (2) Select the item to print from the Print Execution dialog box.
- (3) Select [All Channels] from the Print Execution dialog box.
- (4) Click <OK>.

>>The selected parameters are printed.

#### ● Selecting and printing a specific channel of selected parameters.

- (1) Click <Print>.

The operation is the same by selecting the [File]-[Print] command or the **Ctrl** + **P** keys.

>>The Print Execution dialog box appears.

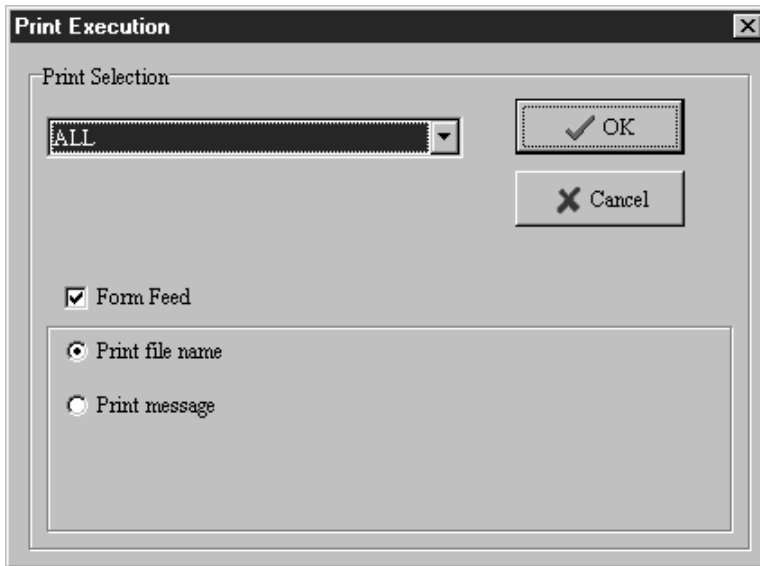
- (2) Select the item to print from the Print Execution dialog box.
- (3) Select the channel to print from the Print Execution dialog box.
- (4) Click <OK>.

>>The selected parameters are printed.

#### **!** Handling Precautions

The SLP can not print the parameters of the specific channels.

● Print Execution dialog box



● Sample printout

Model:SRF224AS82XXX [Untitled] 11/2/98

Event		ch 1	ch 2	ch 3	ch 4	ch 5	ch 6
Number	Items						
1	No.1 event setting value	----	----	----	----	----	----
2	No.2 event setting value	----	----	----	----	----	----
3	No.3 event setting value	----	----	----	----	----	----
4	No.4 event setting value	----	----	----	----	----	----
5	No.1 event type selection	0	0	0	0	0	0
6	No.1 event output destination	0	0	0	0	0	0
7	No.1 event recording ON/OFF	1	1	1	1	1	1
8	No.2 event type selection	0	0	0	0	0	0
9	No.2 event output destination	0	0	0	0	0	0
10	No.2 event recording ON/OFF	1	1	1	1	1	1
11	No.3 event type selection	0	0	0	0	0	0
12	No.3 event output destination	0	0	0	0	0	0
13	No.3 event recording ON/OFF	1	1	1	1	1	1
14	No.4 event type selection	0	0	0	0	0	0
15	No.4 event output destination	0	0	0	0	0	0
16	No.4 event recording ON/OFF	1	1	1	1	1	1
17	No.1 event differential	----	----	----	----	----	----
18	No.2 event differential	----	----	----	----	----	----
19	No.3 event differential	----	----	----	----	----	----
20	No.4 event differential	----	----	----	----	----	----

Continued...

- 1/4 -

SLP-F20E20(SRF206,212,224) Ver1.1.0 Yamatake Corporation

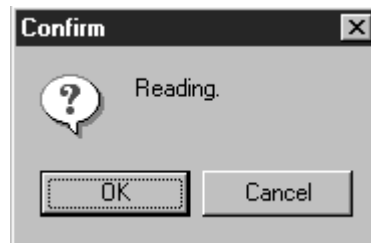
## 3 - 4 Communications with the SRF

### ■ Communicating to the SLP from the SRF (reading to SLP)

- (1) Click <Read (SRF→SLP)>.

The operation is the same by selecting the [Communications]-[Read(SRF→SLP)] command or the **Ctrl**+**R** keys.

>>The Confirm dialog box appears.



- (2) Click <OK>.

>>Reading to the SLP starts.

### ■ Communicating to the SRF from the SLP (writing from SLP)

- (1) Click <Write (SLP→SRF)>.

The operation is the same by selecting the [Communications]-[Write(SLP→SRF)] command or the **Ctrl**+**W** keys.

>>The Confirm dialog box appears.

- (2) Click <OK>.

>>Writing to the SRF starts.

#### **!** Handling Precautions

If the type set on the SLP does not match the SRF model No., the Warning dialog box appears on the screen.

### ■ Setting the Date and Time on the SRF

- (1) Select the [Communications]-[Date/Time Write] command

The operation is the same by selecting the **Ctrl**+**D** keys.

>>The Date/Time dialog box appears.

- (2) Click <OK>.

>>Writing of the date and time to the SRF starts.

#### **!** Handling Precautions


The time must be set beforehand on the personal computer.

## 3 - 5 Setting Up Data

---

### ■ Selecting Setup Items

#### ● Moving the highlight section on the display by operating the keyboard

(1) Press the    or  key to move the highlighted section on screen.

#### ● Moving the highlight section on the display by operating the mouse

(2) Click the section you want to move.

(3) Click the scroll bar to scroll the screen.

>>The screen cannot be scrolled beyond the topmost or bottommost rows on screen.

#### ● Changing operation windows

(1) Press the  key.

>>The screen moves to the target operation window.



Setup items are moved to in order on screen.





### ■ Entering Numerical Data

#### ● Entering numerical values


• To enter a numerical value

Press the  to  keys on the keyboard.

• To enter a hexadecimal value

Press the  to  keys and the  to  on the keyboard.


• To enter a decimal point

Press the  key at the desired decimal point position.

• To enter a minus value


Press the  key.

• To cancel a wrong entry

Press the  key.



>>The currently displayed value is deleted.

• To cancel the currently entered numerical value

Press the  key.

>>Original set value is redisplayed.

#### ● Select the setup item

Entering numerical data by the  to  keys to select the setup item.

(1) Select the setup item to highlight it.

(2) Enter the desired set value by the  to  keys.

(3) Press the  key.

The operation is the same by pressing the  or  key.

>>The set value is fixed.

### Note

- After you have fixed the numerical value by pressing the  $\uparrow$  or  $\downarrow$  key, the highlight section moves on screen.  
When you have moved a setup item using the mouse, the set value is not fixed.
- When a set value is invalid, the original set value is redisplayed.  
To cancel a set value midway during entry, press the  $\text{Esc}$  key before you fix the set value.

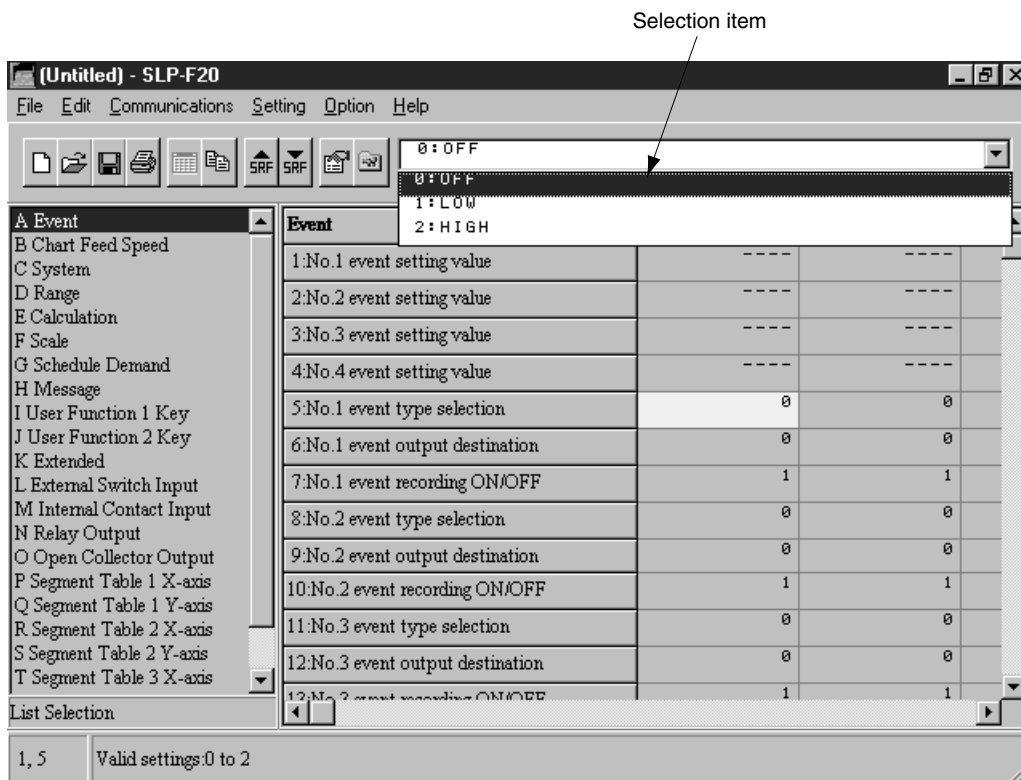
## ● Selecting and entering data

### Note

Items that can be selected and entered are automatically displayed.

(1) Press a setup item button.

The operation is the same by selecting the  $\text{TAB}$  or  $\text{ALT} + \downarrow$  keys.  
>>[Selection Item] is displayed.



(2) Select the setup item by the mouse.

The operation is the same by selecting the  $\uparrow$ ,  $\downarrow$ ,  $\leftarrow$  or  $\rightarrow$  key, or the  $\text{Enter}$  key.

>>The set value is fixed.

### Note

When you use the mouse, the set value is fixed at the same time that you select it with the mouse.

## ■ Entering Text Data

### ● Entering Text Data

The method to entering a text data is as the following.

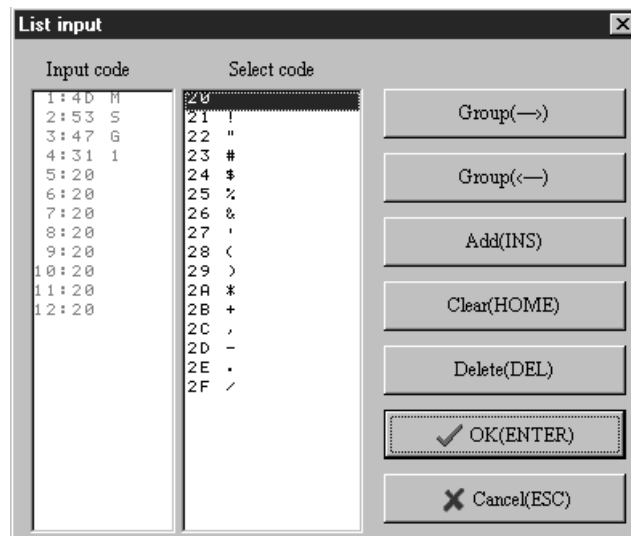
- To delete a character  
Press the **Delete** key.  
>>The currently displayed text data is deleted.
- To delete all characters  
Press the **HOME** key.
- To cancel an entry midway  
Press the **Esc** key before you fix the text data.  
>>Original set value is redisplayed.

### ● Selecting and entering text data

- (1) Select the setup item to highlight it.
- (2) Press the **Enter** key.

The operation is the same by selecting the <List input> [Edit]-[List input] command.

>>The [List input] dialog box appears.



- (3) Press the **HOME** key to clear the current entry.
- (4) Select the text group by the **→** or **←** key.  
The operation is the same by selecting <Group (→)> or <Group (←)>.
- (5) Select the text by the **↑** or **↓** key.  
The operation is the same by clicking with the mouse.
- (6) Add text by the **Insert** key.  
The operation is the same by double-clicking with the mouse.
- (7) If necessary, repeat steps (4) to (6).
- (8) Press the **Enter** key to fix the entry.  
The operation is the same by pressing <OK>.  
>>The set value is fixed.

 **Handling Precautions**

- You cannot directly enter text data.
- Katakana codes cannot be normally treated with the SLP-F20's English version.

# Chapter 4. TROUBLESHOOTING

## 4 - 1 Error Messages

### ■ Communications Error Messages

Category	Message	Description	Remedy
Communications error	"Time out"	Could not receive message during time out preset time.	Check cable connections and contacts.
	"Cannot open communications port"	Could not open communications port.	Do not use the communications port at the same time as software that is using other communications ports.
	"Communications error has occurred"	A system error occurred.	Quit SLP, and reboot Windows.
SRF status error	"Check currently connected instruments."	Currently connected instrument is not an SRF100/200. Or, SRF100/200 is not connected.	Connect the SRF100/200 before use.
	"Cannot support currently connected SRF100/200"	Versions of SLP and SRF in use are not supported.	Contact your dealer.

### ■ File Error Messages

Category	Message	Description	Remedy
File name error	"This filename is not valid."	An invalid file name has been entered.	Enter the correct file name.
	"This file cannot be found. Make sure that the correct path and filename are given."	A non-existent file name has been entered.	Correctly enter the name of an existent file.
	"This filename is a reserved device name. Use a different filename."	A file name reserved as a device name has been entered.	Enter the correct file name.
Disk error	"Not enough free space on disk"	There is not enough free space on disk.	Secure enough free space on disk.
	"The device is not ready."	The disk is not prepared.	Prepare a disk, and repeat the operation.
	"Cannot make file"	The file could not be made.	Save to a different destination.
	"File name too long"	The file name is too long.	Limit file names to 255 or less characters.
Path name error	"The path does not exist. Make sure that the correct path is given."	An illegal path name has been entered.	Enter the correct path name, and repeat the operation.
File information error	"Illegal file size"	File is damaged.	Damaged files cannot be used. Make a new file.
	"Illegal file information"		

### ■ Printing Error Messages

Category	Message	Description	Remedy
Printing error	"Unable to begin printing"	Printer setup is wrong.	Correct the printer setup, and repeat the operation.

### ■ Startup Error Messages

Category	Message	Description	Remedy
SLP system error	"Cannot start up two or more SLP at once."	An attempt was made to start up two or more SLP at once.	Press the <OK> button.

# Appendix

## ■ Code Table

		Upper 4 bits →						
		2	3	4	5	6	7	8
← Lower 4 bits	0		0	@	P	`	p	³
	1	!	1	A	Q	a	q	°
	2	”	2	B	R	b	r	。
	3	#	3	C	S	c	s	.
	4	\$	4	D	T	d	t	
	5	%	5	E	U	e	u	
	6	&	6	F	V	f	v	
	7	'	7	G	W	g	w	
	8	(	8	H	X	h	x	
	9	)	9	I	Y	i	y	
	A	*	:	J	Z	j	z	
	B	+	;	K	[	k	Ω	
	C	,	<	L	¥	l		
	D	-	=	M	]	m	μ	
	E	.	>	N	^	n	²	
	F	/	?	O	_	o	₂	

### ! Handling Precautions

Katakana codes cannot be normally treated with the SLP-F20's English version.

# Revision History

Printed date	Manual Number	Edition	Revised pages	Description
Feb. 1999	CP-UM-5067E	1st Edition		
Dec. 2000		2nd Edition		Overall revision
Jan. 2003		3rd Edition	iv overall	RESTRICTIONS ON USE changed Conventions Used in This Manual changed Circle numbers changed to the numbers with the parenthesis in explanation of method
Apr. 2006		4th Edition	Cover, Eiii Inside of cover E2 E4	Operating Environment, Windows95 changed to Windows95/98/Me/2000/XP. Manual name changed. The illustration of IMPORTANT changed. Description of Serial port added. Installing SLP, (1) to (3) of description changed.



**YAMATAKE**

**Yamatake Corporation**  
**Advanced Automation Company**

1-12-2 Kawana Fujisawa  
Kanagawa 251-8522 Japan

URL: <http://www.yamatake.com>

*Printed on recycled paper.* (05)

*Specifications are subject to change without notice.*

Printed in Japan.  
1st Edition: Issued in Feb. 1999 (W)  
4th Edition: Issued in Apr. 2006 (W)